

一般質問



神田 議員

- 一、友広市政3期目の施策について
二、原子力防災訓練について

質問

一、(1)松浦市の活性化のために早急に企業誘致を実現して頂きたいと思っているが、企業誘致にかける市長の思いをお聞かせください。

(2)一歩踏み込んだ子育て支援に取り組みたいといわれておりますが、何か施策や構想を考えているのであればお聞かせください。

二、(1)毎年実施されている原子力防災訓練に児童生徒の参加は行われていない。児童生徒を訓練に参加させ身をもって体験してもらいたいと思うが、どのような考えを持っているのか伺いたい。

(2)災害発生時、児童生徒は保護者へ引き渡すのが原則となっているが、まず集団で安全な避難先まで移動し、そこで保護者へ引き渡すのがよいのではないかと思う。避難行動計画の見直しを検討できるのか伺いたい。

(3)安全と安心の確保のためには、訓練は必要不可欠だと考えます。これまでの訓練を通して、市長はどのように感じとられ、今後どのような訓練の必要性を感じとられているのか考えを伺います。

答弁

一、(1)早期に企業誘致を実現させるという強い決意のもとに積極的に誘致活動を行います。併せて県の関係機関とも更なる連携を図り、企業の立地が実現するよう全力で取り組んでまいります。

(2)子育て支援は市にとって重要な政策課題です。現在の制度を拡充することに加え、新たに若者等の定住を促進するための子育て世帯支援や養育支援に取り組み、子育てがしやすい環境整備を図ってまいります。

二、(1)今後は積極的に児童生徒が訓練に参加できるよう教育委員会とも調整のうえ取り組んでまいります。

(2)地域防災計画では、引き渡しがない場合は教職員等の引率により市が開設した集合場所へ移動して、避難場所へ向かうとなっております。適切かつ迅速な避難行動ができるかについては、今後検証したい。

(3)訓練では関係機関との連携と相互の協力体制の強化、円滑な避難行動が必要です。多くの市民に参加頂くとともに緊張感を持って臨み、訓練を重ねることで習熟度を高める取り組みが大切だと思っております。

一般質問



川下 議員

- 一、観光施設の拡充と遺跡の保存、整備等について
二、地域医療、情報ネットワークの現状と充実について

質問

今回は、松浦市を行きたい市、過ごしたい市、暮らしたい市として皆様から選ばれた都市になるために必要な観光、医療、地域整備の拡充という観点から質問します。

一、本市観光客数の実績から鷹島が観光の中心として果たしている役割は大きい。より多くの方に来て頂くために観光施設の拡充と遺跡の保存整備の充実が欠かせない。

(1)市長が考える松浦市におけるモンゴル村の位置づけとは何か。

(2)梶谷城跡へ続く道路の改良について、既に計画は立っているはずだが現況はどうか。

(3)星鹿町には、元寇に由来するという逃げの浦の石塁や千人塚が存在する。文化財指定を受けていないが、その理由と今後の見通しはどうか。

二、これから高齢化が加速的に進んでいくにあたり、より包括的な支援の連携が必要であり、本市においても取り組まれている。そこで、複数の医療機関の患者診療情報を、本人の了承のもと安全に連携させるシステムの導入を市が後押ししてはどうか。見解を伺いたい。

答弁

一、(1)鷹島は、元寇の歴史とその歴史的背景から脚光を浴びており、その中でモンゴル村は元寇や水中考古学のシンボルとして位置付けられます。また、観光客の誘客の面でも大きなインパクトがあります。

(2)梶谷城跡までの市道梶谷城線約660メートルについては改良する計画があり、既に路線測量と道路設計は完了しております。しかし、現在は厳しい財政状況であるため市民生活に直結する道路改良を優先していることから、事業化は未定の状況です。

(3)昭和57年当時に国の水中考古学術調査の一環として、金属探知機による刀等の探査が行われましたが反応はなく、研究者の間でも意見は様々です。市文化財指定には、慎重を期したいと考えます。ただし、平成14年に石塁の試掘調査を実施した際には、弥生土器の出土があり、県の遺跡地図に登録されています。

二、地域医療の推進を図る上では有効な手段と考えます。県のアじさいネットワークへの加入など、市として支援できることがあれば取り組みたい。